

第3章 地域の概況及び地域特性

第3章 地域の概況及び地域特性

3.1 調査対象地域の設定

対象事業実施区域及びその周辺における環境に関する情報を収集し、対象事業実施区域を含む周辺の地域特性の把握に努めました。

環境に関する情報の収集は、図 3.1.1 に示すとおり、対象事業実施区域を中心とした栄区、藤沢市を除く約 4.5km×4.5km の区域（以下、「調査区域」といいます。）を対象とすることを基本としました。統計データの情報収集は、泉区、戸塚区の合計 2 区（以下、「調査対象地域」といいます。）を対象としました。

なお、環境に関する情報の収集は、「横浜市環境配慮指針 資料編」（平成 25 年 3 月）に基づいて行いました。

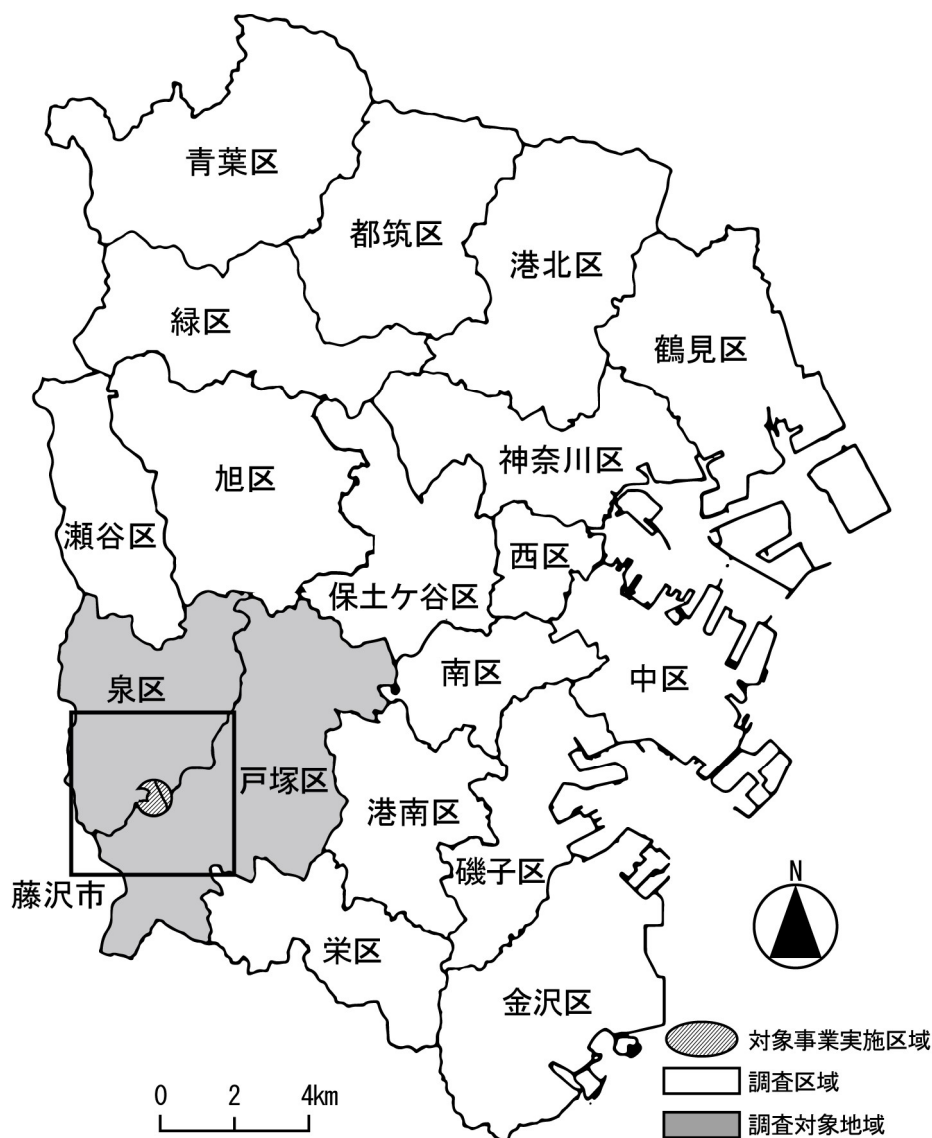


図 3.1.1 調査対象地域

3.2 地域の概況

3.2.1 気象の状況

本市の気象は横浜地方気象台（横浜市中区山手町）で観測されています。

横浜地方気象台で観測された気象の状況は、表 3.2.1.1 に示すとおりです。

令和 2 年における平均気温は 17.0℃、平均風速は 3.6m/s、最多風向は北、降水総量は 1,687.5mm となっています。

表 3.2.1.1 気象の状況（令和 2 年）

項目	年間	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平均気温 (℃)	17.0	7.8	8.9	11.2	13.4	19.7	23.4	24.4	29.1	24.6	17.9	14.7	8.8
最高気温 (℃)	36.4	18.9	18.5	23.8	23.6	29.2	32.3	32.1	36.4	34.1	27.4	24.3	16.9
最低気温 (℃)	0.0	1.3	0.0	0.7	5.9	11.2	17.7	17.8	22.1	15.9	11.1	6.8	1.4
平均湿度 (%)	70	63	54	64	63	73	80	87	75	81	72	64	59
平均風速 (m/s)	3.6	3.4	3.7	4.1	4.0	3.6	3.4	3.9	3.1	3.7	3.4	3.3	3.0
最多風向	北	北	北	北	北	南南西	南南西	南南西	南西	北	北	北	北
日照時間 (h)	2,005.1	157.9	203.2	172.0	218.2	185.0	139.1	61.2	298.2	124.3	121.3	155.7	169.0
日照率 (%)	45	51	65	47	56	43	32	14	72	33	35	50	56
降水総量 (mm)	1,687.5	124.5	32.5	166.5	244.5	97.5	242.5	378.5	48.0	107.0	219.5	9.0	17.5

資料：「横浜地方気象台」（気象庁ホームページ、令和 3 年 4 月調べ）

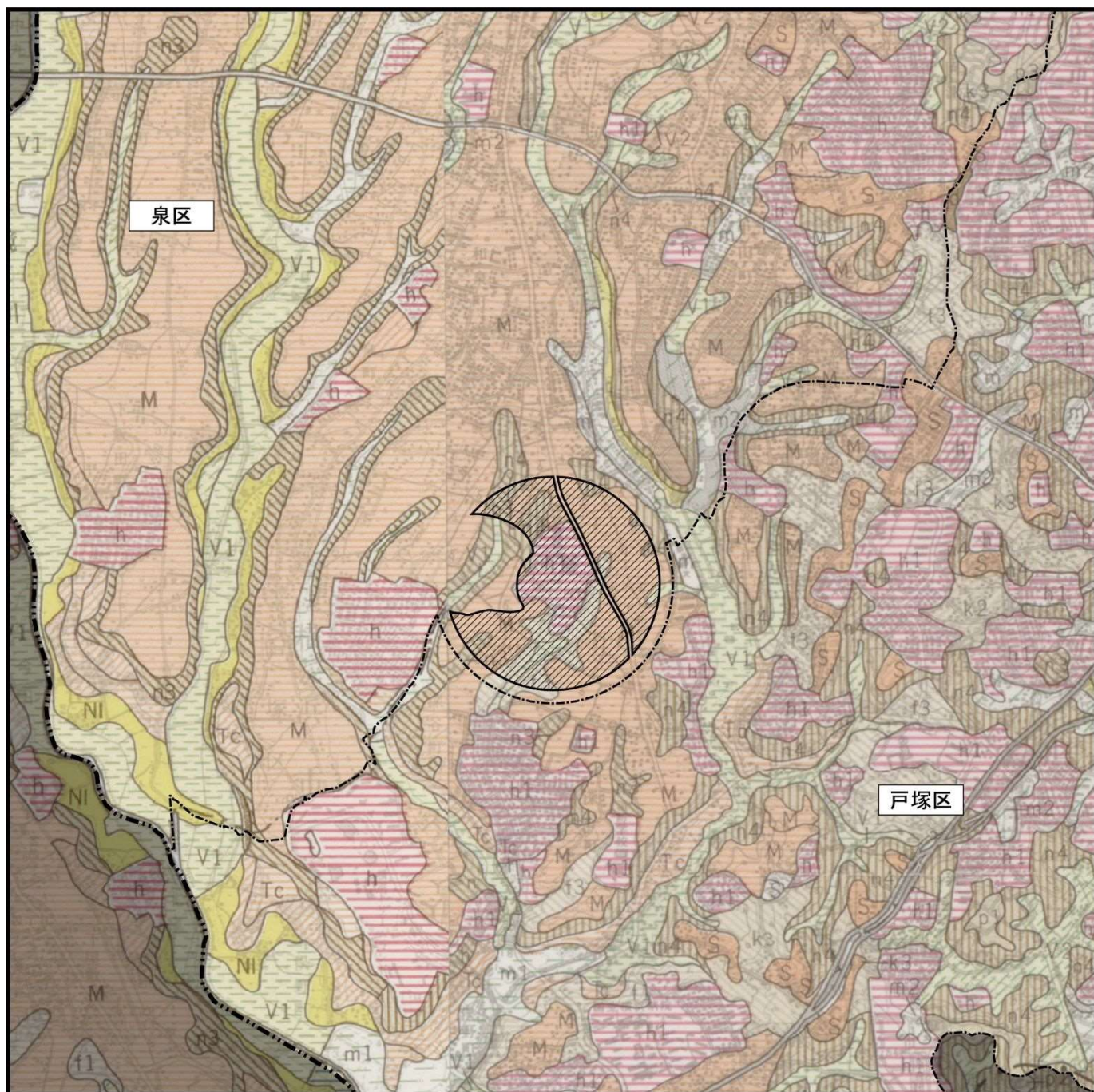
3.2.2 地形、地質、地盤の状況

1) 地形

調査区域の地形分類の状況は、図 3.2.2.1 及び表 3.2.2.1 に示すとおりです。

地形分類図によると、対象事業実施区域の地形は、大部分に武蔵野段丘面群があり、一部に一般斜面、谷底平野、平坦化地、山麓緩斜面、山頂緩斜面が分布しています。

なお、調査区域には「日本の地形レッドデータブック第1集（新装版）-危機にある地形-」（2000年12月、小泉武栄・青木賢人編）、「日本の地形レッドデータブック第2集-保存すべき地形-」（2002年3月、小泉武栄・青木賢人編）の保存すべき地形はありません。

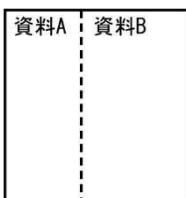


凡 例

▨ : 対象事業実施区域

--- : 市 境

.... : 区 境



0 250 500 1,000
m

1:25,000

資料 A : 「土地分類基本調査 (5 万分の 1 地形分類図) 藤沢・平塚」
(神奈川県、昭和 63 年 3 月)

資料 B : 「土地分類基本調査 (5 万分の 1 地形分類図) 横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津」
(神奈川県、平成 3 年 3 月)

図 3.2.2.1 地形分類図

表 3.2.2.1 地形分類図（図 3.2.2.1）の凡例

資料A		資料B	
	一般斜面 (8°～15°)		山頂緩斜面 (0°～3°)
	一般斜面 (15°～30°)		山頂緩斜面 (3°～8°)
	武蔵野段丘面群 (0°～3°)		山頂緩斜面 (8°～15°)
	武蔵野段丘面群 (3°～8°)		山腹緩斜面 (3°～8°)
	立川段丘面群 (0°～3°)		山腹緩斜面 (8°～15°)
	立川段丘面群 (3°～8°)		山麓緩斜面 (0°～3°)
	自然堤防 (0°～3°)		山麓緩斜面 (8°～15°)
	谷底平野 (0°～3°)		一般斜面 (8°～15°)
	谷底平野 (3°～8°)		一般斜面 (15°～30°)
	氾濫平野 (0°～3°)		下末吉段丘面群 (0°～3°)
	旧河道 (0°～3°)		下末吉段丘面群 (3°～8°)
	平坦化地 (0°～3°)		武蔵野段丘面群 (0°～3°)
	盛土地 (0°～3°)		武蔵野段丘面群 (3°～8°)
	国道・主要地方道		立川段丘面群 (0°～3°)
	地形界		立川段丘面群 (3°～8°)
			自然堤防 (0°～3°)
			谷底平野 (0°～3°)
			谷底平野 (3°～8°)
			平坦化地 (0°～3°)
			盛土地 (0°～3°)
			盛土地 (3°～8°)
			国道・主要地方道
			地形界

※ 表の凡例中に示す () 内の数値は、斜面区分を示します。

斜面区分：(0° ～3°) (3° ～8°) (8° ～15°) (15° ～30°)

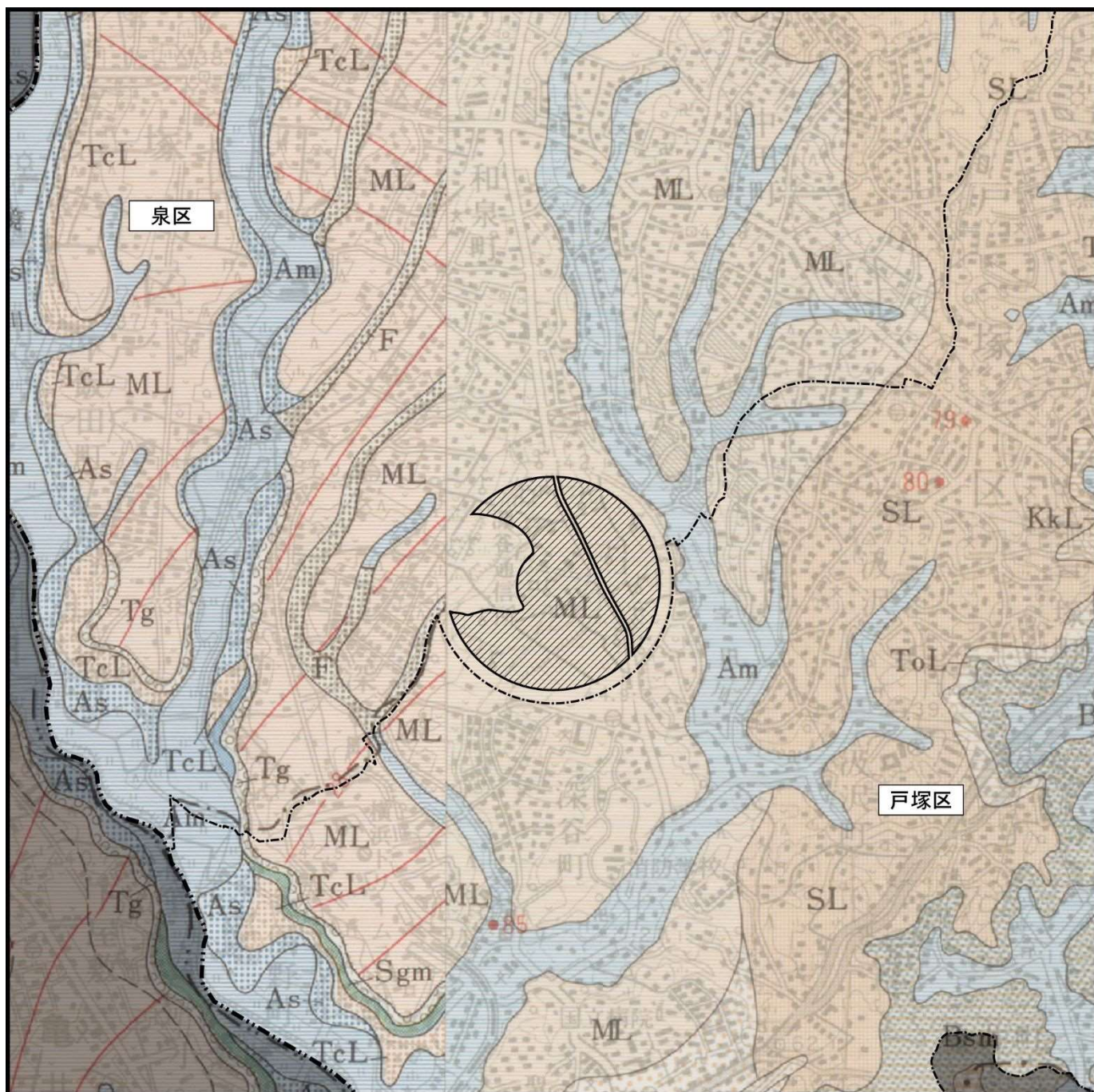
資料 A：「土地分類基本調査（5 万分の 1 地形分類図）藤沢・平塚」（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B：「土地分類基本調査（5 万分の 1 地形分類図）横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」（神奈川県、平成 3 年 3 月）

2) 地質

調査区域の表層地質の状況は、図 3.2.2.2 及び表 3.2.2.2 に示すとおりです。

表層地質図によると、対象事業実施区域の地質は、火山灰・礫及び砂/武蔵野ローム層・武蔵野礫層で形成されています。

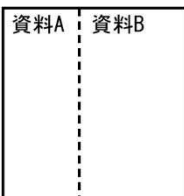


凡 例

▨ : 対象事業実施区域

--- : 市 境

--- : 区 境



0 250 500 1,000 m

1:25,000

資料 A : 「土地分類基本調査 (5 万分の 1 表層地質図) 藤沢・平塚」
(神奈川県、昭和 63 年 3 月)

資料 B : 「土地分類基本調査 (5 万分の 1 表層地質図) 横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津」
(神奈川県、平成 3 年 3 月)

図 3.2.2.2 表層地質図

表 3.2.2.2 表層地質図（図 3.2.2.2）の凡例

資料A		資料B	
	埋め立て土		泥を主とする／低湿地堆積物
	泥を主とし砂を含む／沖積層		火山灰・礫及び砂／立川ローム層・立川礫層
	砂、礫を主とし泥を含む／沖積層		火山灰・礫及び砂 ／武蔵野ローム層・武蔵野礫層
	火山灰層（スコリアを含む）／立川ローム層		火山灰・礫及び砂／小原台砂礫層・善行礫層
	火山灰層（軽石・スコリア層を挟む） ／武蔵野ローム層		火山灰・泥、砂及び礫 ／下末吉ローム層・下末吉層
	礫、砂／新期段丘礫層		火山灰・泥、砂及び礫 ／土橋・土屋ローム層・戸塚層、寺尾層
	泥を主とし砂を挟む ／下部～上部多摩ローム相当層（水成層）		火山灰・泥、砂及び礫 ／山王台ローム層・上倉田層
	ローム層の基底の等高度曲線		泥、砂及び礫／平戸ローム層・屏風が浦層
			泥、砂及び礫／長沼層
			ボーリングの位置番号

資料 A：「土地分類基本調査（5 万分の 1 表層地質図）藤沢・平塚」（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B：「土地分類基本調査（5 万分の 1 表層地質図）横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」（神奈川県、平成 3 年 3 月）

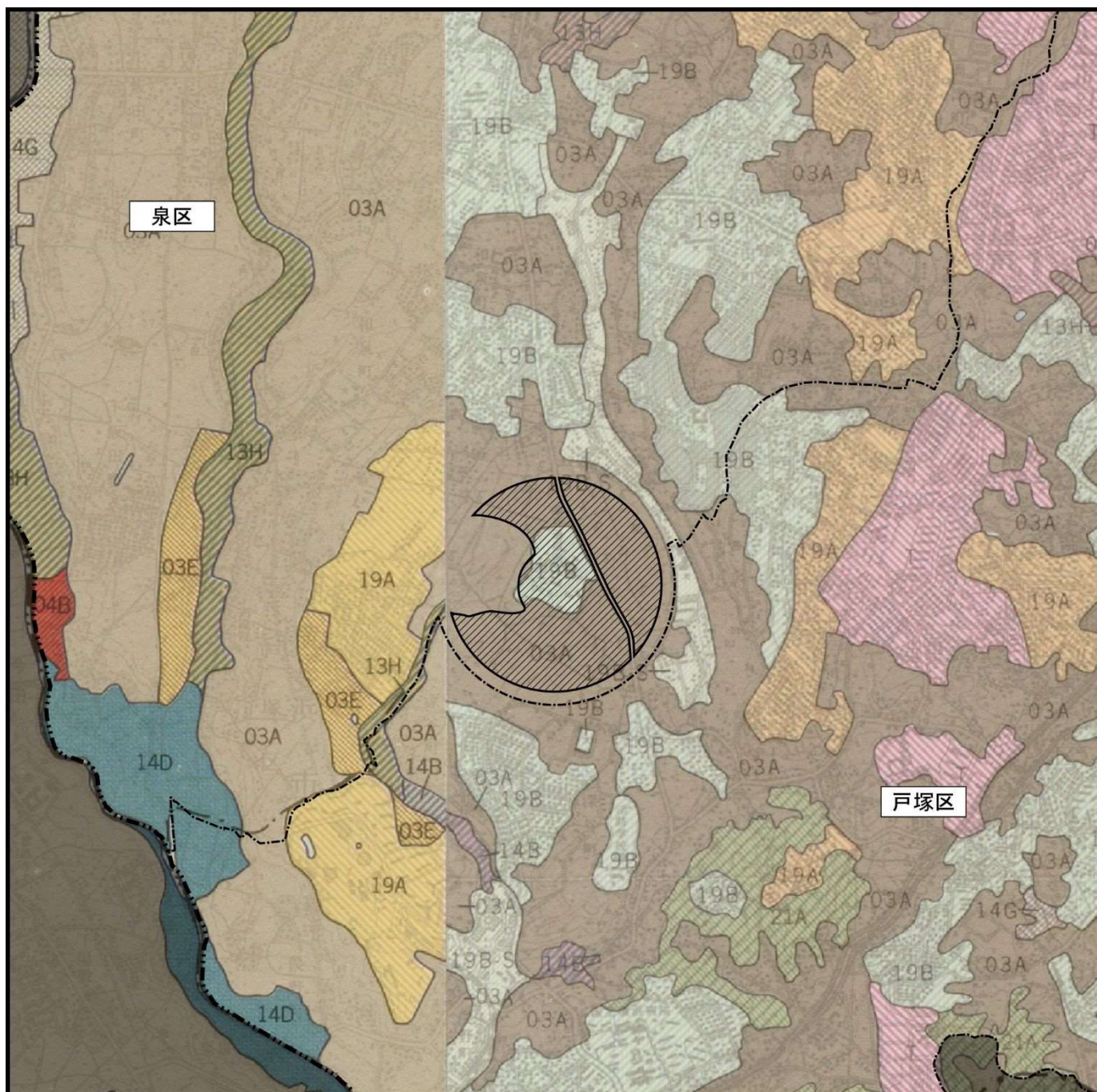
3) 地盤

調査区域の土壌の状況は、図 3.2.2.3 及び表 3.2.2.3 に示すとおりです。

土壌図によると、対象事業実施区域の土壌は、大部分に厚層多腐植質黒ボク土があり、一部にその他の人工改変低地土があります。

調査区域の軟弱地盤の状況は、図 3.2.2.4 に示すとおりです。

軟弱地盤図によると、対象事業実施区域の地盤は、大部分に丘陵地及び台地面があり、一部に軟弱地盤層厚 0～5m があります。

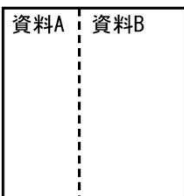


凡 例

▨ : 対象事業実施区域

--- : 市 境

- - - : 区 境



0 250 500 1,000
m

1:25,000

資料 A : 「土地分類基本調査 (5 万分の 1 土壤図) 藤沢・平塚」
(神奈川県、昭和 63 年 3 月)

資料 B : 「土地分類基本調査 (5 万分の 1 土壤図) 横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津」
(神奈川県、平成 3 年 3 月)

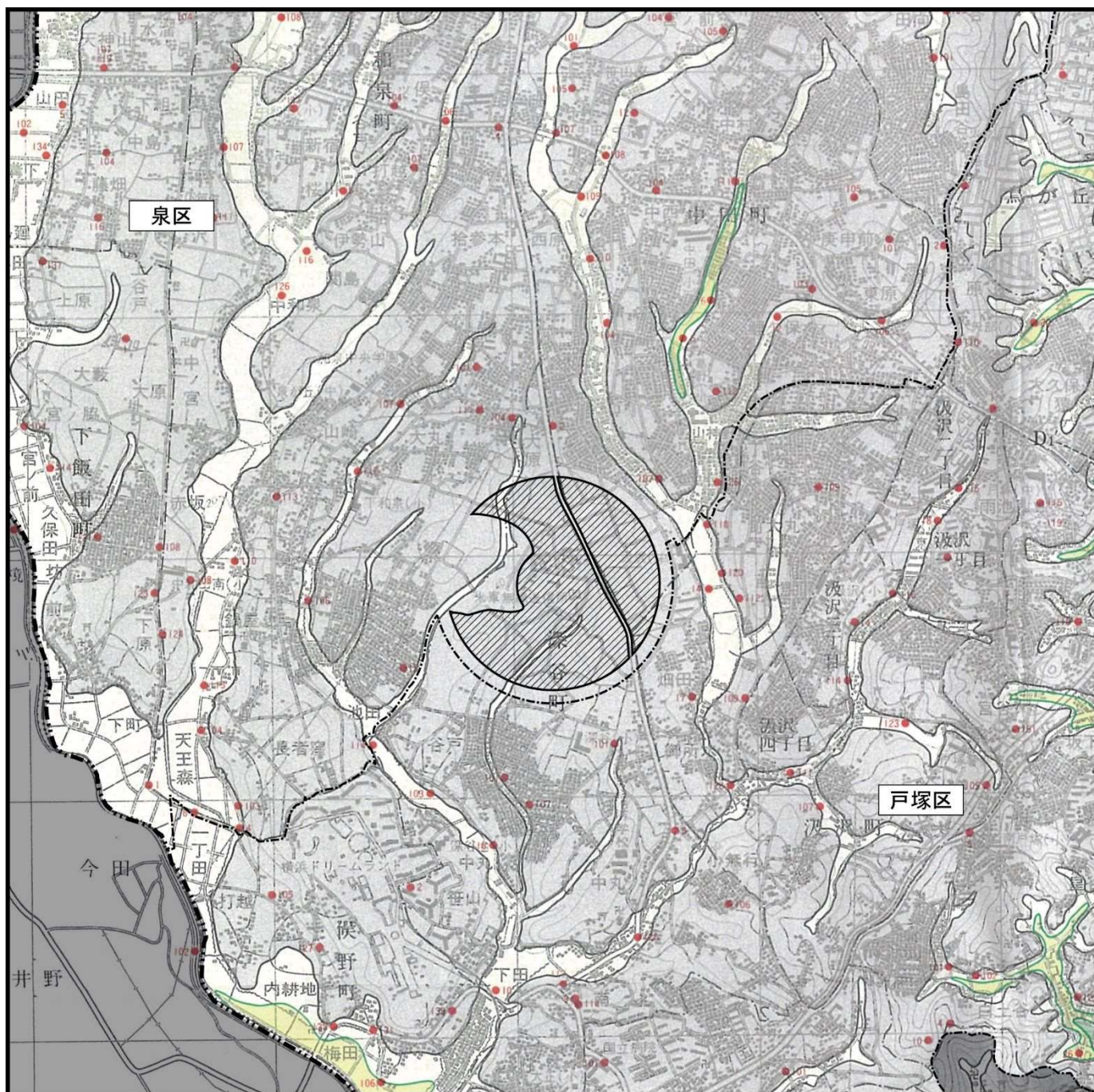
図 3.2.2.3 土壤図

表 3.2.2.3 土壌図（図 3.2.2.3）の凡例

資料A		資料B	
03A	厚層多腐植質黒ボク土	21A	黒ボク土
03E	淡色黒ボク土	03A	厚層多腐植質黒ボク土
04B	厚層腐植質多湿黒ボク土	13H	灰色低地土・下層有機質
13H	灰色低地土・下層有機質	14B	中粗粒強グライ土
14B	中粗粒強グライ土	14G	グライ土・下層有機質
14D	細粒グライ土	15	黒泥土
14G	グライ土・下層有機質	19B-S	元水田
19A	人工改変台地土	19B	その他の人工改変低地土
		19A	その他の人工改変台地土
		T	大規模造成地

資料 A：「土地分類基本調査（5 万分の 1 土壌図）藤沢・平塚」（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B：「土地分類基本調査（5 万分の 1 土壌図）横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」（神奈川県、平成 3 年 3 月）



凡 例

- | | |
|--|--|
|  : 対象事業実施区域 |  : 軟弱地盤層厚 0~5m |
|  : 市 境 |  : 軟弱地盤層厚 5~10m |
|  : 区 境 |  : ボーリング地点 |
| |  : 丘陵地及び台地面 |



0 250 500 1,000
m

1:25,000

資料：「横浜市地盤図集」（横浜市、平成8年）

図 3.2.2.4 軟弱地盤図

3.2.3 水循環の状況

1) 河川

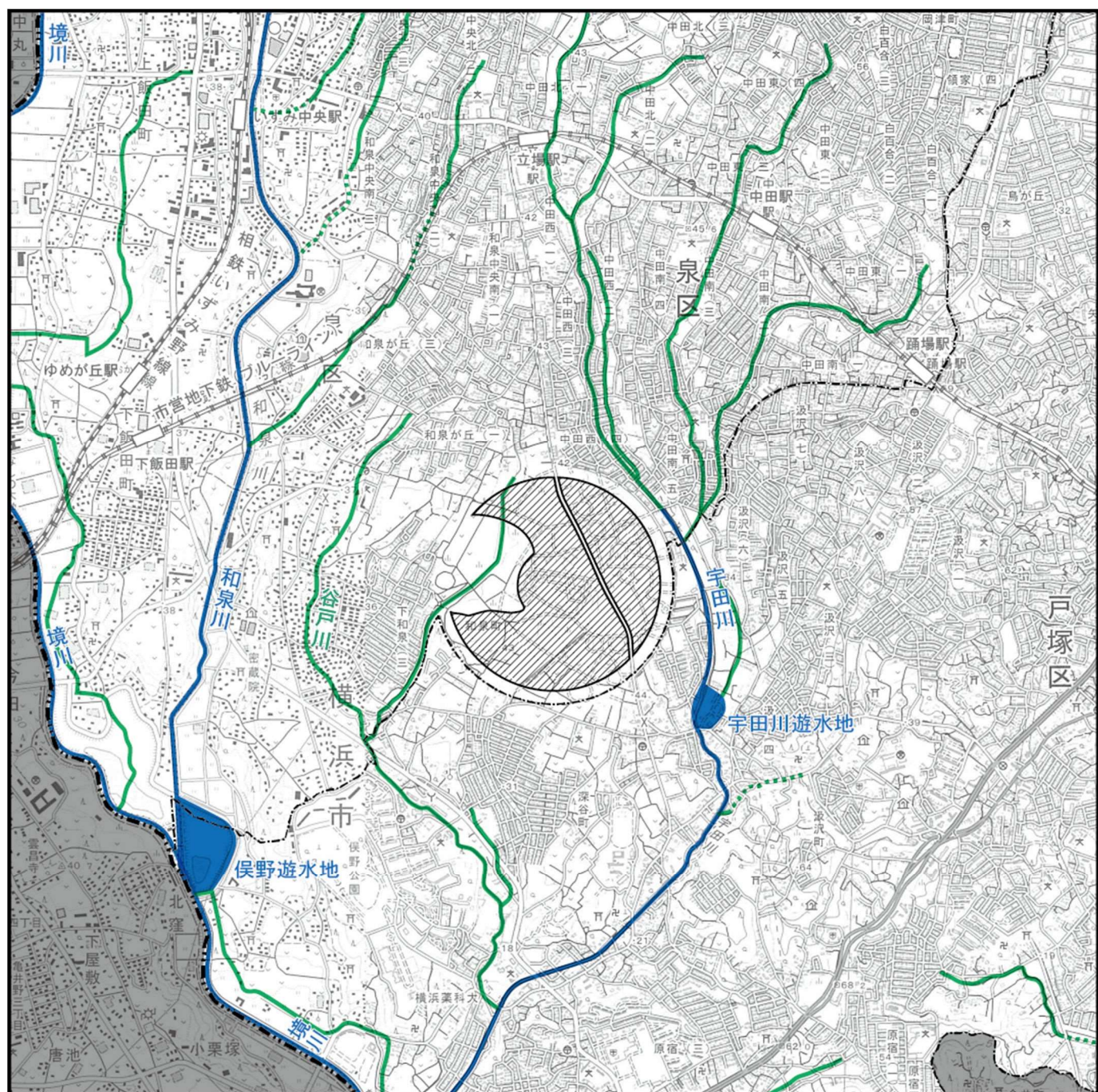
調査区域にある河川の状況は、表 3.2.3.1 及び図 3.2.3.1 に示すとおりです。

対象事業実施区域の西側には二級河川の境川と和泉川が、東側には二級河川の宇田川があります。

表 3.2.3.1 河川の状況

河川区分	水系名	河川名	延長 (m)	流域面積 (km ²)
二級河川	境川	境川	52,140	191.95
		宇田川	3,830	11.86
		和泉川	9,510	11.46

資料：「令和2年度土地統計資料集」（神奈川県政策局政策部土地水資源対策課、令和3年3月）



凡 例

- 対象事業実施区域
- 市 境
- 区 境
- 二級河川
- その他河川
- 公共下水道



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.3.1 河川図

資料：「国土数値情報（河川データ）」（国土交通省、令和3年4月調べ）
「横浜市河川図」（横浜市道路局河川部、平成23年3月）

2) 湧水

調査区域における湧水の状況は、表 3.2.3.2 及び図 3.2.3.2 に示すとおりです。

調査区域において、湧水は泉区で3地点、戸塚区で2地点あります。

表 3.2.3.2 湧水の状況

行政区分	番号	名称	所在地
泉区	1	天王森泉公園	和泉町 308-1
	2	四ツ谷湧水	和泉町 1279 付近
	3	わきみずの森	下和泉四丁目 35
戸塚区	4	戸塚公園	戸塚町 2420-2
	5	谷矢部池公園	矢部町 1996

資料：加藤良昭・下村光一郎・飯塚貞男（2008）「横浜市の湧水特性」（横浜市環境科学研究所報第 32 号）

「泉区散策ガイド 水と緑と歴史の散歩道」（泉区総務部地域振興課、平成 28 年 11 月）

「下和泉湧き水を守る会資料」（下和泉湧き水を守る会、令和 3 年 4 月調べ）

「横浜市の都市公園データ集」（横浜市ホームページ、令和 3 年 4 月調べ）



凡 例

-  : 対象事業実施区域
-   : 湧水
-  : 市 境
-  : 区 境



0 250 500 1,000
m
1:25,000

資料：加藤良昭・下村光一郎・飯塚貞男（2008）「横浜市の湧水特性」
（横浜市環境科学研究所報第32号）
「泉区散策ガイド 水と緑と歴史の散歩道」
（泉区総務部地域振興課、平成28年11月）
「下和泉湧き水を守る会資料」（下和泉湧き水を守る会、令和3年4月調べ）
「横浜市の都市公園データ集」（横浜市ホームページ、令和3年4月調べ）

図 3.2.3.2 湧水の位置